

科目名	子ども学演習				開講 キャンパス	神園
担当者	櫻井京子					
開講年次	3	開講期	通年	単位数	2	必修選択 必修
授業の概要 及びねらい	この授業では、子どもを取り巻く様々な環境問題、子どもの歴史、心身の発達、遊び、子どもを対象とした表現活動、子どもの福祉など、子ども学に関する基礎知識を深める。授業では、1) 文献資料の収集、2) 調査・実験、3) レポートの作成、4) 発表や討論、5) 子育て支援体験活動を行い、主体的な学習力の向上をめざす。また、子どもに関する知識や理解を深めるため、実地見学や観察、調査などの体験的学習を積極的に行う。なお、本演習は4年次開講「卒業研究」の基礎演習として位置づけられる。					
授業の 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 子どもや教育、保育に関する問題関心を深め探求することができる。</li> <li>2) 論文や文献を読んでその内容や要旨をレジュメにまとめることができる。</li> <li>3) 他の学生の報告を傾聴し、質問や意見を述べるができる。</li> <li>4) 子ども文化の歴史を理解し、それぞれの時代の特徴を説明できる。</li> <li>5) 子育て環境の変化による現代社会における問題点・課題について理解する。</li> <li>6) 子ども文化の伝承者としての保育者の役割を理解し、実践する力を養う。</li> <li>7) 保育現場で親しまれている言語文化財を用いた実践ができる。</li> <li>8) 子育て支援活動の意義を理解し、その企画・立案・実行を補助することができる。</li> <li>9) インターネットを用いた文献調査の方法を習得する。</li> <li>10) アンケートやインタビュー、観察など、卒論作成に必要な調査の方法を理解する。</li> </ol>					
学習方法	論文や文献の講読、レポート作成、発表、討論、実態調査、体験学習					
テキスト及 び参考書等	必要に応じて配布する					
評価基準・方法	到達目標					評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現		
定期試験						
小テスト等						
宿題・授業外レポート	◎	◎	◎		50	
授業態度		◎	◎		10	
受講者の発表		◎	◎	○	30	
授業への参加度			◎		10	
その他						
合計					100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)						
<b>授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)</b>						
通 年	第1週	オリエンテーション (ゼミ・教員紹介、ゼミの配属方法についての説明)				
	第2週	研究室訪問 (選択しようとするゼミの教員を訪問し、研究テーマについて話し合う)・希望調査票の提出				
	第3週	ゼミ別オリエンテーション (授業の進め方、顔合わせ)				
	第4週	子育て環境の変化 (家庭・地域・幼稚園・保育所・学校など)				
	第5週	保育現場における子ども文化 (実習体験の発表・討論) ①				
	第6週	保育現場における子ども文化 (実習体験の発表・討論) ②				
	第7週	「子ども学」とは何か				
	第8週	「子ども学」の具体的な方法と進め方				
	第9週	子ども文化と時代背景 祖父母・父母の子ども時代				
	第10週	子ども文化と時代背景 自分たちの子ども時代				
	第11週	子ども文化と時代背景 現代の子どもたち				
	第12週	テレビ・ゲーム・パソコン・携帯電話の普及と子ども文化				
	第13週	子どもを取り巻くさまざまな問題				
	第14週	伝承文化に触れてみよう① 折り紙が親しまれる理由				
	第15週	伝承文化に触れてみよう② 折り紙遊び				
	第16週	前期のまとめ				
	第17週	子育て支援の必要性和意義				
	第18週	言語文化財 絵本①				
	第19週	言語文化財 絵本②				
	第20週	言語文化財 パネルシアター劇①				
	第21週	言語文化財 パネルシアター劇②				
	第22週	子育て支援活動の計画作成				
	第23週	子育て支援活動の実際				
	第24週	子育て支援活動 (子どもミュージアム) リハーサル				
	第25週	子育て支援活動 (子どもミュージアム)				
	第26週	卒業論文とはどのようなものか				
	第27週	卒論作成に向けて① テーマをどう選ぶか				
	第28週	卒論作成に向けて② 文献とデータ				
	第29週	卒論作成に向けて③ 文献検索の方法と技術				
	第30週	卒論作成に向けて④ アンケート調査の方法				
	第31週	まとめ				
	第32週					
備考	本授業の一環として、西九州大学子ども研究ネットワーク主催事業「子どもミュージアム」に参加します。授業外学習 (事前学習・事後学習) を適宜行うこと。					